

# 大学生ゴルファーにおけるクラブ別フォーム動作

## 研究目的

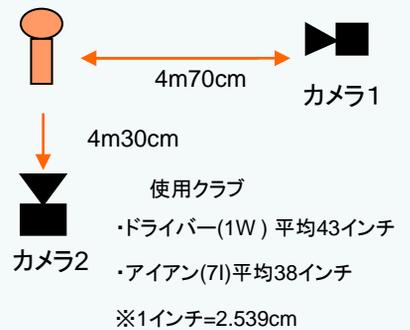
ゴルフでは大きく分けてドライバー、アイアン、パターと3種類のクラブが存在する。  
 どれか1つのクラブでも欠けてしまうと勝利することは難しい。  
 そこで3つのクラブ中でもスイング動作が似ているドライバーとアイアンとでスイング動作に変化があるのか3次元分析した。

※以後ドライバーを1W、アイアンを7Iとする

## 被験者データ

身長:171cm 体重:55kg

## 撮影方法



## 連続写真

1W

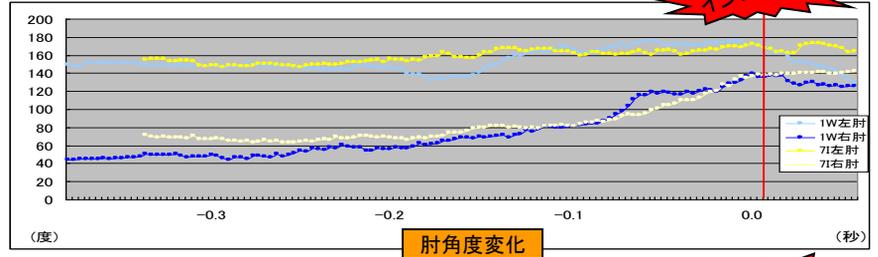


7I

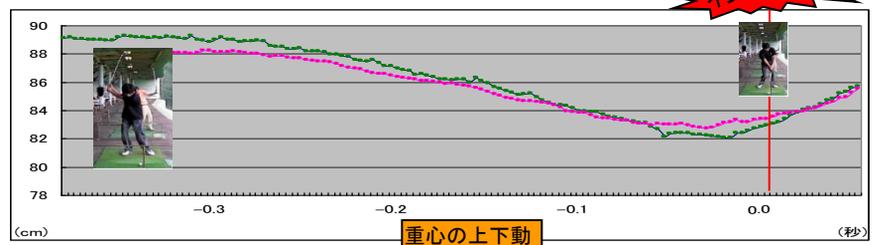


## 結果

7Iはインパクト後、両肘とも肘角度をそのまま維持していたが、1Wは両肘とも曲げた。



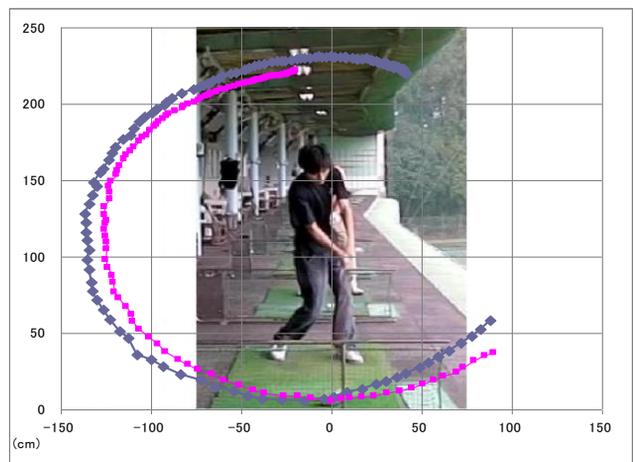
1Wは7Iと比較してインパクトまで時間がかかった。また、スイング開始時の重心は1Wの方が高かったが、インパクト直前には低かった。



7Iと1Wではクラブの長さの違いが影響して1Wの方が大きくアーチを描いているが、軌跡はほぼ変わらなかった。

## 結果・考察

- ・1Wが7Iよりもスイングに時間がかかった。
- ・1Wがインパクト直前に両肘とも曲がったのはスライス(右側に曲がる弾道)防止のため右肘を内側に回したことが影響したものと推測できる。



クラブヘッドの軌跡